

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ヒトツナ金沢黒田教室		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 16日		～ 令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 16日		～ 令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご家族との近い距離。お互いに気持ちを伝える事が難しくない関係。「安心」を感じることが出来る支援環境。「口にすることが難しい時」を事業所が察することが出来て、意識せずともそれが支援に繋がる日々。	職員誰と相談しても、職員みんながそのことについて考えて話し合う時間をとっている。どの職員でもいいので気軽にお話しください☺ 守秘義務もしっかり周知徹底。	令和8年4月～第2、4土曜のサービス提供を開始する。午前中だけであるが、ご家族やお子さまとゆっくり密な支援環境を提供する。
2	お子さまが「安心」のもと過ごすことが出来る時間。異年齢のなかでの集団で過ごす時間の提供。「失敗」しても大丈夫!!「もう一回、、、やってみようかな?」の気持ちが湧いてくる時間。	ご本人が安心して「失敗」を経験することが出来る環境を意識している。「もう一回やってみようかな、、、」の気持ちに子ども主体でなることが出来る、子ども同士の環境も意識している。前日の様子を職員で共有し、当日の支援への課題や進めかたも共有する。ご家族へ様子が伝わる	4月から新しいお友達との関係が親子ともども始まる。漠然とした不安がご本人やご家族に湧いていると思われる。その気持ちを少しでも軽くすることが出来ることばや、安心が、我々も加わることで軽くなる時間があるように意識している。「安心」の上に何もかもが成り立つ。
3	生きていく上での必要な経験を、年齢に応じて職員で共有しながら経験することが出来る環境。	ご本人の成長段階であるか、それとも環境調整によって習得して得たものであるのかの、ご本人会議をしている。出てきた話はご家族との面談の議題に必ず挙げるようにしている。ご家族や学校・園・他事業所を巻き混んでの大きな支援を意識している。	ご家族⇄学校⇄他の事業所⇄自事業所との関係の構築。送迎で見聞きするご本人の学校生活での課題への練習を気軽に事業所でそれとなく体験することが出来る日々を意識していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	本社が遠い。関連施設がない。	関連施設がないので、ちょっとした情報の共有を気軽にしにくい。	市・県主催の研修等に積極的に参加。近くの事業所さんとの関係性作りを頑張っている。今後、一緒に取り組むことが出来るイベントなども考えたいところ。
2	必要な知育玩具が年齢に応じた購入が出来ない。が故に、手作りのものが多い。	気軽に購入することが難しい。	手作りでも素敵なものがあるので、そこを推し進めてゆきたい。ただし、本当に必要なものは購入してゆく。
3			